

気象災害から身を守るために気象台は新たな情報を提供します！！

毎年、全国各地で大雨による災害が発生しており、平成28年には北海道においても台風等の大雨により広い範囲で土砂災害、洪水害、浸水害に見舞われました。

このため、気象庁では、大雨などによる被害をさらに減らす取り組みとして、本年から新たな情報を提供します。

1. 「警報級の可能性」(本年5月17日から気象庁ホームページで公開中)

台風の接近時など、現在はさほど雨や風などが強くなくても、5日先までに警報発表が予測される場合に、警報発表の可能性を〔高〕と〔中〕の2段階に色分けした図表を用いて発表します。(図1)

平成〇〇年10月4日17時00分 ××地方気象台発表
××県の警報級の可能性
南部では、5日までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性								
	4日		5日			6日	7日	8日	9日
	明け方まで 18-6		朝～夜遅く 6-24						
大雨	〔高〕		〔高〕			—	—	—	〔中〕
大雪	—		—			—	—	—	—
暴風(暴風雲)	〔高〕		〔高〕			—	—	—	—
波浪	〔高〕		〔高〕			—	—	—	—

〔高〕: 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
〔中〕: 〔高〕ほど可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生のある可能性がある状況。

図1 5日先までの警報級の可能性を色分けした図表

2. 「危険度を色分けした時系列」(本年5月17日から気象庁ホームページで公開中)

これまでは文章のみで発表されていた気象警報・注意報を、一目で分かるように、図2のように危険度を時間ごとに色分けして視覚的に分かりやすくしました。

【各種別についての凡例】

- 特別警報
- 警報
- 注意報
- 今後特別警報に切り替える可能性が高い警報
- 今後特別警報に切り替える可能性が高い注意報
- 今後警報に切り替える可能性が高い注意報

△△市	今後の推移 (特別警報級 警報級 注意報級)	4日										備考・関連する現象
		15-18					18-21					
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨	1時間最大雨量(ミリ)	40	50	70	110	110	70	50	30	30		
	(浸水害)											以後も注意報級 浸水害
	(土砂災害)											以後も警報級 土砂災害
洪水	(洪水害)											以後も注意報級 氾濫
暴風	風向	陸上	10	15	20	50	50	30	18	15	12	
	風速(矢印・メートル)	海上	10	15	20	50	50	30	20	15	15	以後も注意報級
波浪	波高(メートル)	4.0	6.0	8.0	11.0	11.0	6.0	6.0	4.0	3.0		うねり
高潮	潮位(メートル)	0.7	0.7	1.5	4.0	4.0	3.0	2.0	1.5			ピークは5日3時頃
雪												竜巻

図2 危険度が高まる時間帯を時系列に色分けした図表

3. 「危険度分布」の予測の提供開始(本年7月上旬から気象庁ホームページで公開)

大雨・洪水警報が発表されたときに、どこで実際に危険度が高まっているのかを地図上に色分けして表示しました。

(図3、図4)



(左) 図3 大雨警報(浸水害)の危険度分布

(右) 図4 洪水警報の危険度分布

これらの情報をご利用いただき、安全確保のための早めの行動をお願いします。

○お問い合わせ先 室蘭地方気象台 電話 0143-22-4249